※過年度※

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

2026年度
女子美術大学 芸術学部

特別選抜(帰国子女)
学生募集要項

緊急時の対応について
受験機会確保のため、やむを得ず日程・実施方法等を変更する場合があります。
変更となる場合は本学WEBサイトにてお知らせいたしますので、出願の際は
あらかじめ最新情報をご確認ください。
なお、出願登録期間開始後に変更が生じた場合は、登録されたメールアドレス宛
にも個別にご連絡いたします。

https://www.joshibi.ac.jp

※過年度※

目　次

2 アドミッションポリシー
入学定員
3 入学者選抜方針
4 出願
8 受験
14 合格発表
15 入学手続
16 その他

※過年度※

アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲ある人材を求めます。
求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考え方を持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。

入学定員

大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190名	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		国際芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220名	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160名	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッション表現領域	
		スペース表現領域	
		クリエイティブ・プロデュース表現領域	
共創デザイン学科	60名		杉並（東京）

※過年度※

入学者選抜方針

外国で受けた教育を活かして、異文化や多様な価値観、広い視野と柔軟な思考を持ち、美術・デザインを基礎から学びたいと希望する人材を求めます。

募集人員

学科	専攻・領域	
美術学科	洋画専攻	各専攻 若干名
	日本画専攻	
	立体アート専攻	
	美術教育専攻	
	国際芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	各専攻 若干名
	プロダクトデザイン専攻	
	環境デザイン専攻	
	工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	各領域 若干名
	ヒーリング表現領域	
	ファッション表現領域	
	スペース表現領域	
	クリエイティブ・プロデュース表現領域	
共創デザイン学科		若干名

選考方法

専門試験、面接および提出書類により総合的に判定します。

※過年度※

出願

●「出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格

外国において教育を受け、帰国後の期間が入学時の2026年4月までに2年未満の日本国籍を有する女子（日本国の永住許可を得ている方を含む）で、次の①～④のいずれかに該当する方に限ります。

①外国において正規の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて2年以上継続して在学し、2024年4月1日から2026年3月31日までに学校教育12年の課程を修了または修了見込みの方
②外国において正規の教育制度に基づく中学・高等学校を通じて2年以上継続して教育を受け、2024年4月1日から2026年3月31日までに日本の高等学校を卒業または卒業見込みの方
③国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCＥAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有し、取得後2年以内の方
④上記①～③のいずれにも該当せず、本学において個別の審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

注１）外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した方については、その期間は外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。
注２）出願資格④については、事前に審査が必要ですので、8月末日までに女子美入試センターへご相談ください。
☎042-778-6123

出願上の注意

●出願登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
●一度納入された検定料および受理した提出書類は返還いたしません。
●登録完了後、定められた期日までに必要書類の提出がなかった場合は失格となります。
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、書類送付締切日に注意してください。
●美術学科に出願する場合は、同学科内で第２志望の専攻を申請することができます。
第２志望を申請する方は出願登録時に申請してください。（登録完了後の申請は受付けません）
●第２志望の合否は、第１志望先の試験結果により判定します。第２志望を申請した方は第１志望が不合格でも、第２志望で合格する場合があります。
●出願資格を取得見込みの方で、2026年４月１日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
●受験番号（８桁）は受験票でお知らせします。受付番号とは異なります。
●登録時に入力されたアドレスは、以後必要に応じて本学から連絡をする際にも使用しますので、ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

出願登録期間

2025 年 11 月 1 日（土）10：00 ～ 11 月 10 日（月）13：00

検定料

30,000 円
※「検定料の減額制度について」をご参照ください。
※日本国外から出願する方は「出願手順」に従い、クレジットカードでお支払いください。

※過年度※

出願手順

出願する選抜制度の学生募集要項で選択科目の有無などの内容をよく確認し、登録作業を始めてください。

※出願登録にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・証明写真データが必要です。
※登録完了後の変更・取り消し、検定料の返金はできません。STEP２では入力内容を十分に確認してください。
検定料の支払い前に入力内容の誤りに気付いた場合は、検定料を納入せずに出願情報を再入力してください。
※出願登録が完了した時点で出願を受け付け、自動的に受験番号が決定します。
※受験番号は出願情報入力完了時の「受付番号(12桁)」とは異なります。

写真は、本人確認を行うためのものです。
また、入学された場合は学生証にも使用しますので、以下の点に注意してください。
・無帽、正面、無背景の証明書用写真であること
・本人確認が可能な鮮明なものであること
・白黒、カラーは問いません
・出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。
・学生証に使用する上で不適切な写真の場合、入学後に写真を変更して再発行することは可能ですが、再発行の手数料は自己負担となります。

不適切な例
× アプリ等により加工された画像
× スナップ写真の一部
× 前髪等で顔が隠れている
× 証明写真の再撮影
など

事前準備

STEP 1　出願サイトでマイページ登録

本学WEBサイトから出願サイトへアクセス
「マイページ登録」ボタンよりマイページ登録をしてください。
※既にマイページ登録済みの方は STEP 2 から始めてください。

出願登録

STEP 2　出願情報の入力

①「ログイン」ボタンよりマイページにログインしてください。
②画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
③入力が完了すると、登録したアドレスに「出願サービス支払い手続きのご案内」メールが送信されますので、受付番号(12桁)・検定料のお支払期限を確認してください。

STEP 3　検定料のお支払い ～ 登録完了

① STEP 2 で受信したメールに記載されたURLにアクセスし、検定料のお支払方法を選択してください。　※お支払いに必要な情報は必ず控えてください。
②画面に従って、検定料をお支払いください。 ※検定料の他に手数料がかかります。
選択できるお支払い方法
▶コンビニエンスストア　▶ネットバンキング
▶ペイジー対応銀行ATM　▶クレジットカード

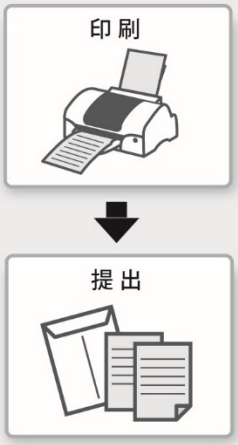
書類送付

STEP 4　各用紙をA4サイズで印刷

「志願票の印刷」ボタンより志願票などの必要な用紙を印刷してください。
※ページの拡大／縮小は「なし」で印刷してください。
※「自動回転と中央配置」にチェックを入れてください。
※封筒貼付用宛名シートはカラーで印刷してください。

STEP 5　提出書類の送付

STEP 4 で印刷した用紙と、「調査書」や「証明書」など、定められた提出書類を郵送(簡易書留・速達)で定められた期間内に到着するように送付してください。
※定められた期間内に必要書類の提出がない場合は失格となります。
郵送にかかる日数を考慮して、証明書などは早めに準備してください。
※提出書類は、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた任意の角２封筒に封入してください。



受験票準備

STEP 6　受験票の印刷　※郵送はしません

書類送付締切日以降、提出書類の確認が取れた方には、登録されたアドレスへ受験票印刷準備完了のご案内を通知します。
試験前日までに出願サイトから受験票をダウンロードし、必ずＡ４サイズの用紙に印刷して記載内容を確認してください。
集合時間や伝達事項なども記載しています。 ※試験当日は必ず持参してください。

※試験の7日前までに通知がない場合は、女子美入試センターまでお問い合わせください。　☎ 042-778-6123
(短期大学部 学校推薦型選抜、特別選抜(社会人)、特別選抜(帰国子女)については試験の４日前までに、
一般選抜(C日程)および専攻科一般選抜については試験前日までに通知します)

※過年度※

提出書類

＊書類を提出する前に「対象者」欄を確認し、左の確認欄で不足書類が無いかをチェックしてください。
＊確認欄がグレーの書類は、該当する方のみが提出する書類です。
＊記入が必要な提出書類には黒のボールペンを使用してください。（消せる筆記具は使用不可）

確認	No.	提出書類	対象者	詳細
□	1	**志願票**	**全員**	登録完了後に印刷できます。　＊「出願手順」参照
□	2	**出願資格および修学履修を証明する書類** ※出願資格により異なります。	**出願資格 ①** に該当する方 （右２種）	**出身学校の卒業または修了（見込）証明書（日本語または英語）** 日本の高等学校に相当する課程を卒業または修了（見込）であること、およびその在籍期間が確認できる証明書を提出してください。 ＊志願者の氏名、生年月日、学校名、卒業または修了(見込)年月日、発行日が確認できる原本を提出してください。
				学業成績証明書（日本語または英語） 日本の高等学校３年間にあたる就学期間と、その期間の成績が記載されているものが必要です。 上記３年間に複数の学校に在学していた場合は、在学した全学校の証明書を提出してください。（日本の高等学校の証明書は「調査書」が望ましい） 飛び級ないし繰り上げ卒業のある方で、上記書類にその事実や理由等の記載がない場合は、そのことを証明する出身学校の書類を添付してください。 ＊志願者の氏名、生年月日、学校名、在籍期間、発行日が確認できる原本を提出してください。
			出願資格 ② に該当する方 （右２種）	**卒業（見込）の高等学校の調査書** 調査書の提出が困難な場合は、卒業（見込）証明書と成績証明書を提出してください。
				前在高校の学業成績証明書(日本語または英語) 日本の高等学校に転入する前の、高等学校にあたる期間の成績証明書で、在籍期間が明記されたものが必要です。
			出願資格 ③ に該当する方	**ディプロマおよび成績証明書**
□	3	**志願者身上書**	**全員**	本学所定用紙を使用し、必要事項を記入してください。
□	4	**志願調書**	**全員**	本学所定用紙を使用し、定められた枠内に記載してください。
□	5	**提出作品等に係る誓約書**	**全員**	本学所定用紙を使用してください。 ＊美術教育専攻および国際芸術文化専攻の出願者で、作品を持参しない場合は不要
□	6	**日本国籍を証明する書類**	**二つの国籍を持っている方**	**パスポートのコピーなど**
□	7	**配慮希望申請書および診断書**	**特別な配慮を希望される方**	配慮希望申請書は本学所定用紙です。 詳細は下記※印をご参照ください。

※「配慮希望申請書」（本学所定）は、受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。
あらかじめオープンキャンパスや進学説明会を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。
また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。
事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応ができないことがありますので、あらかじめご了承ください。
事前相談については女子美入試センターまでお問い合わせください。　☎042-778-6123
なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

※過年度※

提出書類に関する注意

●証明書類は発行後３ヶ月以内の原本を提出してください。原本が１部しかない場合は、出身学校による原本証明済みのコピーを提出することも可能です。
ただし、提出書類「２」の証明書類については、卒業後に発行された原本であれば３ヶ月以内でなくても構いません。
●証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、証明書の原本に大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
●提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
●提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

●提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角２封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
●日本国外から提出書類を郵送する場合は、ＥＭＳ（国際スピード郵便）など、ご自身で配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。
期日までに届かない場合は失格となります。
●特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。
☎042-778-6123

書類送付締切　**2025 年 11 月 11 日（火）必着**

書類送付先　〒252-8538　神奈川県相模原市南区麻溝台１９００　女子美入試センター
※アート･デザイン表現学科、共創デザイン学科の試験場とは異なりますので注意してください。

※過年度※

受験

試験日　**2025 年 11 月 23 日（日）**

試験場　学科により異なります

■美術学科、デザイン・工芸学科　相模原キャンパス（神奈川）
■アート・デザイン表現学科、共創デザイン学科　杉並キャンパス（東京）

配点　**全学科共通**　**【専門試験】**100点 ＋ **【面接】**100点　計200点

試験科目等　**■美術学科**

●洋画専攻		
専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン**または**木炭デッサン　9：30～12：30　（3時間）** 与えられた静物を自由に配置し鉛筆または木炭でデッサンする ※試験開始前に持参作品搬入を行うため遅くとも試験開始の45分前までには来校してください。
	持参用具	**[鉛筆デッサン]** 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★Ｂ３ボード（画用紙）は大学で用意します。 **[木炭デッサン]** 木炭、消具、その他必要な用具 ★B3木炭紙、木炭用下敷き用紙、フィキサチーフ、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・観察に基づく描写ができているか ・画面内での配置、構図がバランス良く表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができているか
面接	実施方法	**個人面接（作品持参）　13：30～**　１人10分程度
	持参作品	・作品２点 静物画（１５号、着彩、油彩またはアクリル）１点 自由なテーマで制作した作品（１５号～３０号　描画材、支持体は自由）１点 ・ポートフォリオ（Ａ４）1冊 油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をＡ４サイズのファイルにまとめたもの
	評価基準	・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

●日本画専攻		
専門試験	科目・時間	**水彩画　9：30～12：30　（3時間）** 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具（水彩絵の具の透明・不透明は自由　アクリル絵の具も可） ★Ｆ10号水彩用紙、画板は大学で用意します。
	評価基準	・水彩画による表現力、描写力があるか ・画面構成、空間表現がバランス良く表現できているか ・モチーフの形態、質感の相違、色彩などを的確に観察し表現できているか
面接	実施方法	**個人面接（作品持参）　13：30～**　１人10分程度
	持参作品	大きさ10～20号の作品３点、作品資料ファイル１冊
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や学習・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

※過年度※

●立体アート専攻

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：30　（3時間）** 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★Ｂ３ボード（画用紙）、下描き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	**個人面接　13：30～**　１人15分程度
	持参作品	作品写真ファイル１冊 （立体作品、スケッチ、クロッキーなどの写真をA４サイズのファイルにまとめたもの） ※上記に加えて、手で持ち運べる程度のサイズの立体作品を持参することも可。
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか ・質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：30　（3時間）** 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★Ｂ３ボード（シリウス紙）は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	**個人面接　13：30～**　１人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・創作意欲や学業に対する意欲はあるか ・質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●国際芸術文化専攻

専門試験	科目・時間	**小論文　9：30～11：30　（2時間）** 与えられた課題に関して文章で表現する　＊辞書の使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか
面接	実施方法	**個人面接　12：30～**　１人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識、学習意欲があるか ・自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

※過年度※

■デザイン・工芸学科

●ヴィジュアルデザイン専攻
●プロダクトデザイン専攻
●環境デザイン専攻

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：00　（2時間30分）** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式（パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可） ★Ｂ３ボード（画用紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	**面接（作品持参）　13：00～**　受験生１～３人程度　１組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式（現物・写真）で持参すること
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

●工芸専攻

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：00　（2時間30分）** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式（パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳、鏡、音の出るものなど周囲に影響を及ぼすものは使用不可） ★Ｂ３ボード（画用紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	**面接（作品持参）　13：00～**　１人15～20分程度
	持参作品	鉛筆デッサン（Ｂ３サイズ）２点 作品資料（Ａ４クリアファイルに鉛筆デッサン５点以上含め10点） ・必ず本人が制作した作品であること ・一般選抜の専門試験に準じた作品でなくてもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

※過年度※

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：00　（2時間30分）** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★Ｂ３ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	**面接（作品持参）　13：00～**　受験生１～３人程度　１組15～20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：00　（2時間30分）** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★Ｂ３ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	**個人面接（作品持参）　13：00～**　１人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッション表現領域

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン　9：30～12：00　（2時間30分）** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★Ｂ３ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間（奥行き、高さ、広がり）が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	**個人面接（作品持参）　13：00～**　１人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・志望理由、将来の目標が明確か ・目的意識、創作意欲を持っているか ・日本語でのコミュニケーション能力が充分か

※過年度※

●スペース表現領域

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン**または**文章表現** **[鉛筆デッサン]　9：30～12：00　(2時間30分)** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする **[文章表現]　9：30～11：30　(2時間)** 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	**[鉛筆デッサン]** 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★Ｂ３ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。 **[文章表現]** 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	**[鉛筆デッサン]** ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間（奥行き、高さ、広がり）が感じられる表現となっているか **[文章表現]** ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	**面接（作品持参）　13：00～**　１人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか ・日本語でのコミュニケーション能力が充分か

●クリエイティブ・プロデュース表現領域

専門試験	科目・時間	**鉛筆デッサン**または**文章表現** **[鉛筆デッサン]　9：30～12：00　(2時間30分)** 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置、構成して、鉛筆デッサンする **[文章表現]　9：30～11：30　(2時間)** 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	**[鉛筆デッサン]** 鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具（パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可） ★Ｂ３ボード（シリウス紙）、下描き用白色紙１枚は大学で用意します。 **[文章表現]** 筆記用具 ★下書き用白色紙は大学で用意します。
	評価基準	**[鉛筆デッサン]** ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか **[文章表現]** ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	**個人面接　13：00～**　１人10分程度
	持参作品	ポートフォリオ（Ａ４サイズファイル1冊） 自分自身の活動（学校の授業課題で制作した作品以外のもの）や興味を説明できる内容をまとめること
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

※過年度※

■共創デザイン学科

専門試験	科目・時間	**伝達表現　　10：00～12：00（2時間）** 与えられた環境課題に対する解決方法のアイディアを所定用紙に可視化する ＊可視化の方法は、図、イラスト、キーワード（簡単な単語）、文章など自由。
	持参用具	筆記用具（カラーペン、色鉛筆などの使用も可とし、色数は自由とする） ★所定用紙（Ａ３サイズ）は大学で用意します。
	評価基準	・出題内容の主旨を理解し、複数の事柄を抽出し、分類ができているか ・自分なりの表現手法で、わかりやすく伝えることができているか
面接	実施方法	**面接（資料持参）　13：00～**　受験生１～３人程度　１組15～20分程度
	持参資料	ポートフォリオ（Ａ４サイズ以上のファイル1冊） クラブやボランティア活動の記録、留学経験、自身で制作したデザイン・アート作品・デッサンの写真など、自分自身の活動を説明できるようにまとめる ※希望者は実物作品（自身で運べるもの3点以内）の持参も可とする
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・質問の主旨を理解し、自分の考えを的確な言葉で伝えることができているか ・外国での経験を踏まえ、自分にしかできないこと、自分の得意とすることを伝えることができているか ・共創デザイン学科の学びに意欲的か

受験上の注意

- 咳などの症状がある場合、大学構内では常時マスクを着用してください。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、Ａ４サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 本要項に記載している内容以外の伝達事項は、主として受験票と当日の配布プリントに記載します。
- 正門の開門時間は**8：30で**す。遅くとも試験開始の30分前（洋画専攻は45分前）までには来校してください。
- 大学構内での移動、試験会場への入場・退場は係員の指示に従ってください。
- 専門試験は試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 専門試験を欠席した場合、面接を受験することはできません。
- 専門試験または面接のいずれかを受験しなかった場合、また専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で用意したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は利用できません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。
- 出願後に怪我等の理由で、受験の際に何らかの配慮が緊急に必要となった場合は速やかに女子美入試センターまでご連絡ください。　☎042-778-6123
- 試験場に向かう途中で事故・事件に巻き込まれた場合など、やむを得ない事由により試験場への到着が遅れる場合は、大学に連絡してください。

※過年度※

合格発表

発表日　**2025 年 12 月 1 日（月）13:00**

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

●合格者全員に合格通知と入学手続書類一式を郵送します。不合格通知は発送しません。
●合格発表時間より、インターネットによる「合否案内」システムでの簡易発表を行います。
●合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
●学内の掲示発表は行いません。
●合格者で、入学手続書類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。
（ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。）　☎03-5340-4501

「合否案内」システムについて

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・スマートフォン）で合否結果を確認できるサービスです。下記ＵＲＬへアクセスしてください。

https://www.gouhi.com/joshibi/

（利用時間）
発表時間から翌日 24：00 まで

（利用上の注意）
・「合否案内」は合否確認の補助的な手段です。正式には本学からの合格通知をご確認ください。
・インターネットに接続したパソコンおよびスマートフォンから利用することができます。
ただし、パソコンのブラウザ、スマートフォンの機種によっては、表示できない場合があります。
・上記利用時間以外は利用できません。
合格発表日や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
・利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
・発表直後はつながりにくい場合があります。
つながらない場合は、しばらくしてから再度アクセスしてください。

※過年度※

入学手続

締切日までに所定の書類を提出し、入学手続時納入金（下表①）を指定銀行口座にお振込みください。
この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。
＊入学手続書類は合格通知に同封します。
＊参考として前年度の学費を記載しますが、2026年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続の手引き」で再度ご確認ください。

締切日　**2025 年 12 月 11 日（木）**

学費　初年度納入金（前年度参考）　（単位：円）

学科	専攻・領域	入学金	前期授業料・施設設備料等	**①入学手続時納入金**（入学金+前期授業料等）	②後期授業料等納入金	初年度納入金（①+②）
美術学科	洋画	220,000	863,160	**1,083,160**	853,000	1,936,160
	日本画		856,660	**1,076,660**	846,500	1,923,160
	立体アート		864,760	**1,084,760**	854,600	1,939,360
	美術教育		851,160	**1,071,160**	841,000	1,912,160
	国際芸術文化		848,260	**1,068,260**	838,100	1,906,360
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン	220,000	854,160	**1,074,160**	844,000	1,918,160
	プロダクトデザイン		858,160	**1,078,160**	848,000	1,926,160
	環境デザイン		856,160	**1,076,160**	846,000	1,922,160
	工芸		863,160	**1,083,160**	853,000	1,936,160
アート・デザイン表現学科（全領域共通）		220,000	868,260	**1,088,260**	848,100	1,936,360
共創デザイン学科		220,000	864,160	**1,084,160**	844,000	1,928,160

※個人用の情報機器（アート・デザイン表現学科はノートPC、共創デザイン学科はiPad）代を４年間に分けてお支払いいただきます。初年度徴収する10,000円をそれぞれ含めて表記しています。なお、2～4年生で毎年度徴収する額は、アート・デザイン表現学科は49,000円、共創デザイン学科は33,000円です。
※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。
※次年度以降の学費については、社会経済情勢等に応じて改定されることがあります。

納入金返還制度　入学を許可された方が入学辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。（詳細は合格通知同封の「入学手続の手引き」を参照）
入学辞退届提出期限　2026 年 3 月 31 日（火）　17：10 必着
今後変更がある場合は、合格者に送付する「入学手続の手引き」でお知らせいたします。

納入金の振替　学費を納入後、併願先の女子美術大学の他専攻等、もしくは女子美術大学短期大学部に合格し、入学先を変更する際は、納入金の振替が可能です。

※過年度※

その他

宿泊

本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。

入学試験での作品について

入学試験での専門試験作品の所有権、著作権は、学校法人女子美術大学に帰属します。
専門試験作品の返却はいたしません。
なお合格者の作品は、本学の入試参考作品として公開することがあります。

入学後の住まい

遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。
申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。

個人情報保護について

「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。
なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、合否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。
※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学WEBサイトにおいてご確認いただくこともできます。

寄付金等の募集について

本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っておりません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っておりません。ご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

「二ケの会」
（在学生の父母等の会）

「女子美術大学 二ケの会」は、学生の父母等が中心となり、大学と協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的に活動しています。

授業料減免制度

高等教育の修学支援新制度による授業料等減免、大規模自然災害被災学生授業料等減免、私費外国人留学生授業料減免があります。

奨学金制度

奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の２種類があります。

１．学内奨学金
本学では学生の学業継続を援助し、優秀な人材の育成に資するため、各種給付型奨学金により経済支援を行っています。

２．学外奨学金
日本学生支援機構奨学金（給付型、貸与型）、地方公共団体、各種団体によるものがあります。
日本学生支援機構奨学金は大学に入学してから申し込みできますが、あらかじめ高等学校３年次に申し込み、大学入学後奨学金が給付、貸与される「予約採用」制度もあります。
「予約採用」を希望する場合は、在学中の高等学校にお問い合わせください。

※本学は高等教育の修学支援新制度（授業料等減免、給付型奨学金）の対象機関として認定されています。

提携教育ローン

奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。

国の教育ローン

日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。

※奨学金・教育ローン等詳細については、本学WEBサイトに掲載の「奨学金制度」をご覧ください。

※過年度※

2026年度　大学　特別選抜（帰国子女）

受験番号	※記入しないこと

志願者身上書

志願先	学科		専攻・領域
フリガナ 氏　名		生年月日 （西暦）	年　月　日 （　歳）
本人現住所 （国内連絡先）	〒 TEL　E-mail		

学歴	学校名	国名	在学状況		修業期間
	国立・公立・市立・私立 小学校		（西暦） 年　月	卒業	年
	国立・公立・市立・私立		年　月	入学・転入学・編入学	年
			年　月	転出・中退・卒業・見込	カ月
	国立・公立・市立・私立		年　月	入学・転入学・編入学	年
			年　月	転出・中退・卒業・見込	カ月
	国立・公立・市立・私立		年　月	入学・転入学・編入学	年
			年　月	転出・中退・卒業・見込	カ月
	国立・公立・市立・私立		年　月	入学・転入学・編入学	年
			年　月	転出・中退・卒業・見込	カ月

保証人（保護者等）				
	氏　名		本人との続柄	
	現住所	TEL		

渡航理由	

※過年度※

2026年度　大学　特別選抜（帰国子女）

受験番号	※記入しないこと

志 願 調 書

※Ａ４サイズの用紙に片面印刷して使用し、本人の直筆で記入してください。

フリガナ		志願先	学科
氏名			専攻・領域

下記の枠内に簡潔に書いてください。

●本学を志望した理由は何ですか？

●本学科（専攻・領域）を志望した理由は何ですか？

●志願するにあたって、どのような勉強をしましたか？

●入学後、学びたい専門分野（専攻・領域等）は何ですか？

●卒業後に就きたいと思う職業、したいと思う活動等は何ですか？

※過年度※

2026年度　大学　特別選抜（帰国子女）

受験番号	※記入しないこと

提出作品等に係る誓約書

女子美術大学
学長　小倉　文子 殿

２０２６年度女子美術大学入学試験の受験に際し、私（受験者）が提出する作品等については、全て自身が制作したものに相違ないことを誓約いたします。
なお、偽りがあった場合は合格取り消し等の処分に異議申し立てをいたしません。

年　　月　　日

学科
出願先：　　専攻・領域

受験者氏名（自署）：